

ABVd療法の治療を受けられる患者さんへ

患者ID
氏名

担当医
担当看護師
配布日

	入院:1病日 /	2病日 /	3病日 /	4病日 /	5病日 /	6～7病日 / ～ /	8～9病日 / ～ /	10～11病日:退院 / ～ /	【退院後の生活について】	
達成目標	・治療について理解できる	・有害事象(発熱、嘔気・嘔吐、食欲不振、便秘・下痢、骨髄抑制など)について理解できる	・38.0度以上の発熱がない				・退院指導の内容を理解できる		・処方されている薬は医師の指示通りに内服してください ・入院生活で下肢の筋力が低下していますので、歩行時はゆっくり動き、転倒に注意してください	
			・嘔吐がない ・便秘がない							
内服	・薬剤師が、持参薬及び服薬状況について確認します 	・吐き気止めを内服します(3日間)							・めまいやふらつきなどの症状が出現することがあります。体力も低下していますので、無理せず、ゆっくりとした生活を心掛けてください	
			・医師の指示後、ステロイドを内服します(3日間)							
注射		・点滴をします。治療後は点滴を抜きます 							以下の症状がある時はご連絡ください ・37.5度以上の発熱 ・風邪症状 ・食事や水分が摂れない ・息苦しい	
検査	・身長・体重測定 	・体重測定(毎日)								
処置		・心電図、酸素飽和度モニターをつけ、治療後に外します								
食事	・制限はありません 	【緊急連絡先】 ・平日時間内 (8:30～17:00) 内科外来 :0985-85-9883								
活動・安静	・制限はありません	・点滴中は安静にお過ごしください	・制限はありません							
清潔	・シャワー浴ができます 	・シャワー浴は治療前までにお済ませください	・シャワー浴ができます						・土日・祝日、時間外 5階東病棟 :0985-85-1789	
説明	・入院オリエンテーションを行います ・医師が治療の説明をします ・薬剤師が、資料を用いて治療(薬剤)の説明をします ・本用紙を用いて、治療スケジュールについて説明します ・転倒転落予防について説明します ・がん薬物療法オリエンテーションを行います						・「がん薬物療法を受けられた患者さんへ」のパンフレットを用いて、退院後の生活について説明します			
その他	・同意書は職員にお渡しください	・点滴の薬剤が血管の外に漏れると、その部位の皮膚に炎症が起こることがあります。点滴が入っているところに痛みや発赤、腫れがある場合は、ナースコールでお知らせください ・点滴中にトイレに行く時は、治療薬を止めることもありますので、ナースコールでお知らせください ・血管痛がある時には、すぐにお知らせ 								
		・抗がん薬投与終了から2日間は、尿や便に抗がん薬が含まれます。排泄時、尿・便の飛散により、他の方々のお身体にも影響を及ぼす可能性があるため、男性は座って排尿してください。排泄後は、水を2回流してください								
		・嘔気や気分不良などの症状があればお薬を使用しますので、我慢せずにお知らせください								

なんでも
ご相談
ください



診療計画、入院期間は現時点での予定です。今後、状態の変化によって変更されることがあります。不明な点がありましたらいつでもお尋ねください。